2026 年度事業計画

１．植物性たん白の消費の増進、普及啓発に関する事業（調査、資料収集、展示会）

（１）パンフレット、レシピ集、試供品の配付

植物性たん白のパンフレット、レシピ集、試供品の配布を行う。なお、協会ホームページに掲載しているレシピの内容については、必要に応じて更新する。

（２）広報

植物性たん白に関して、以下の広報活動を行う。

①協会ホームページに掲載している植物性たん白の生産出荷統計、JAS 格付検査依頼実績及び輸入実績のデータを随時更新する。

②協会ホームページが幅広く活用されるよう随時内容等の見直しを行う。

③食品業界紙等に植物性たん白及び協会の広告及び会長の年頭所感を掲載する。

④第 1 回理事会・通常総会合同会議終了後に記者会見を実施する。

（３）外部主催の事業・催し等への参画

以下の機関・団体等が主催する事業・催しに参画する。

①行政機関

・農林水産祭

②研究機関・学会

・日本スポーツ栄養学会第 12 回大会（26.8.29～30　帝京大学八王子キャンパス（東京都）

③関係業界・団体

・(公財) 全国学校栄養士協議会第 53 回定時総会（26.6.12 国立オリンピック記念青少年総合センター)

・(一社) 日本農林規格協会を通じて、農林水産省ほか主催の「第 21 回食育推進全国大会 in とちぎ」において、パンフレット、レシピ集及び試供品を配布して PR する。(26.6.6)

④マスコミ等

・ifia JAPAN 2026 を協賛し、プレゼンする。(26.5.27～29　東京ビッグサイト)

・食品開発展 2026 に出展し、プレゼンする。(26.10.14～16、東京ビッグサイト)

２．植物性たん白食品の規格及び技術に関する事業（調査、資料収集）

（１）JAS

①植物性たん白の JAS 規格の運用等に関して、農林水産省、(独) 農林水産消費安全技術センター等との連絡調整を行う。

②(一財)日本穀物検定協会主催の JAS 品質管理責任者講習会に講師として出席する。

③JAS 連絡協議会に出席する。

④JAS 公平性委員会に公平性委員（業界団体）として出席する。

（２）技術の開発・改善

①技術部会において、技術研修会を実施する。

②食品開発展 2026 に出展する。(再掲)

③農業・食品産業技術総合研究機構の研究成果展示会 2026 に参加する。

３．植物性たん白食品の内外の情報収集及び調査研究に関する事業（調査、資料収集）

（１）情報収集

正確かつ速やかな収集・提供に努めることとし、以下の機関・団体等が主催する会議等に参加する。

①行政機関

・各種説明会（法令・制度・事業、国際関係等）

②研究機関・学会

・（公財）不二たん白質研究振興財団の講演会　等

③関係業界・団体

・（一財）食品産業センターの企業・団体連絡協議会

・（一社）日本農林規格協会の連絡協議会

・米国及びカナダ大豆関係の連絡会議・セミナー　等

（２）調査研究

「植物性たん白質含有食品のテクスチャー評価のための表現用語及び力学的指標の探索」に関する研究を大阪公立大学 竹中重雄教授に委託する。

（３）現地研究会

運営委員会において、現地研究会を実施する。

４．セミナーの開催（研修、セミナー）

技術部会において、植物性たん白に関連するテーマを選定し、協会役職員、会員企業職員、報道関係者等を対象としたセミナーを開催する。

５．その他

（１）協会運営

関係法令、定款等に則り、各種内部会議等を円滑かつ的確に開催・実施する。

（２）創立 50 周年記念事業

2026 年 5 月 7 日の総会開催日に実施する。

（３）その他

正会員及び賛助会員に対して、適時に有用な情報を提供する。